

2019 年度 鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門ミニシンポジウム 「歴史的建造物の非破壊検査」

主 催：(一社)日本非破壊検査協会
鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門

期 日：2020年3月2日(月) 10:00～18:00

会 場：亀戸文化センター(カメラアプラザ)3F カメラホール
東京都江東区亀戸2-19-1 <https://www.kcf.or.jp/kameido/>

主 旨：

鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門では、日本非破壊検査協会平成28年度非破壊検査総合シンポジウムにおいて、「歴史的建造物の保存のための調査設計技術」のセッションを設け、歴史的建造物に展開する非破壊試験のあり方を模索いたしました。歴史的建造物を取り巻く非破壊検査に関連する活動をみますと、日本コンクリート工学会では、平成27年度より長崎市から研究委託を受け、野口貴文東京大学教授を委員長とした「供用不可まで劣化破損が進行したコンクリート構造物の補修・補強工法に関する研究委員会」、引き続き平成29年度より「危急存亡状態のコンクリート構造物対応委員会」を設置して活動されております。また、平成28年度から令和2年度までの予定で、国内外の歴史的建造物を対象に名古屋市立大学青木孝義教授を代表として、日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(S)課題「歴史的建造物のオーセンティシティと耐震性確保のための保存再生技術の開発」の研究が展開されています。このように歴史的建造物の維持管理・保存に関する議論が活発になっている中、非破壊検査に寄せられる期待は大きなものになっています。

本ミニシンポジウムでは、このような状況を鑑み、歴史的建造物への非破壊検査の適用における国・地域の行政の期待・考え方、検査対象品質、適用可能な試験方法の開発・提案、適用例などに関して、論文発表、パネルディスカッションを企画しています。本ミニシンポジウムを通して、歴史的建造物への非破壊試験の適用の現状を整理し、今後の日本非破壊検査協会の活動展開に役立てたいと考えております。

RC部門登録者の皆様、歴史的建造物の維持管理の行政や実務に携わっておられる方々、研究者の方々そして学生諸君に奮ってご参加いただけましたら幸いです。

プログラム(予定)：講演数等により時間配分を調整・変更する場合があります。

10:00～10:10 開会挨拶および主旨説明 湯浅 昇(日本大学)

10:10～14:20 一般講演(論文発表)

講演内容：「歴史的建造物への非破壊検査の適用における期待・考え方、適用可能な試験方法の開発・提案、適用例」

14:30～17:50 パネルディスカッション「歴史的建造物の非破壊検査はどう進めるか」

司会：今本啓一(東京理科大学)、濱崎 仁(芝浦工業大学)

基調講演：

①長谷川直司(国土技術政策総合研究所)

②青木孝義(名古屋市立大学)

③野口貴文(東京大学)

④星野真志(文化財建造物保存技術協会)

⑤佐藤大輔(コンステック)

17:50～18:00 ミニシンポジウムの総括と閉会の挨拶 濱崎 仁(芝浦工業大学)

鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門 創設30周年式典

日 時：2020年3月2日(月) 18:30～20:30

会 場：クッチーナ イタリアーナ ジョルノッテ

参加費：6,000円